

「東浦町立保育園の今後のあり方(案)」への意見募集結果について

No.	意見等の要旨	パブリック・コメントの意見等	町の考え方
1	保育士人材確保について	保育士人材不足は東浦町だけではない問題だと思います。 市がご尽力されているのも分かります。 東浦町では 就労証明は必須ではないのでしょうか？	本町では、幼稚園が少ないことから、教育認定児におきましても、町立保育園で幼児教育・保育を行っています。 教育認定児の入園手続きの際、就労証明書の添付は不要ですが、保育認定児の入園手続きの際は、保育を必要とする時間の確認のために、就労証明書の添付を必須としています。
2	お菓子(おやつ)について	給食費の無償をやめて、おせんべいばかりの午前と午後のおやつを、栄養補給ができるおやつに変えてほしい。 ・東浦町保健センターの乳児検診では、午前と午後のおやつ時間は果物や乳製品、おにぎりや、蒸しパン、芋類などを摂るように指導を受けます。子どもの健やかな成長のため、無償をやめておやつと食事を充実させてほしい。	給食費の無償については、費用面における保育サービスの充実の一環として行ってきました。 一方で、民間事業者は有償で給食を提供しているため、保育サービスの利用負担額に差が生じています。 また、無償化のための費用を確保するため、質の高い保育環境の整備が後回しになりかねません。町立保育園は、老朽化が進み、施設整備費の増大が懸念されますが、子ども達のために、質の高い保育環境を提供したいと考えています。 そのため、必要な利用料や給食費は保護者負担をお願いさせていただくことを考えており、今後も持続可能な保育園運営を目指していきます。 なお、保育園の「おやつ」は、給食で取り切れなかったエネルギーの補給や、心身のリフレッシュのために提供しています。 ご意見にもあります果物や乳製品などは、給食でデザートや栄養の補完飲料として提供していますが、今後も子ども達の健やかな成長のために献立やおやつを考えていきます。
3	行事について	町立保育園全ての保育園が同じ日に運動会、生活発表会、卒園式を行うことをやめてほしい ・私の周りで東浦町の保育士として復帰しない、東浦町の保育士を退職したい1番の理由に保護者として子どもの大切な行事に参加できないことを上げています。子どもが悲しむことを考えると、保育士のパートととして働くこともできないと言っています。 年少児と年長児の子どもが別々の保育園の通っている場合も、保護者がバラバラで参加することになり、子どもに悲しい思いをさせます。 来年度の行事から全ての保育園を別日にしたら、どうでしょうか。今働いてくれている東浦町の保育士が東浦町で子育てをしやすい環境をすぐに整えたほうが良いと思います。	町立保育園では、担任を決める際、職員自身の子どもの行事に参加ができるよう、子どもの年齢を考慮して決めています。 また、行事の進め方も、全体開催から学年やクラスごとの開催に見直し、職員自身の子どもの行事に参加できるようにしました。 行事に関しては、兄弟姉妹を同日で行ってほしい意見をはじめ、さまざまな意見もあるため、すぐに結論を出すことができませんが、保育士には、自分の子どもの行事を優先するようこれからも引き続き声掛けをしていき、子育てもしやすく、働きやすい環境づくりに努めていきます。
4	民営化について	現状を鑑みると、町立保育園の民営化は避けられない選択肢であると理解しております。 民営化そのものには反対ではなく、財政面から見ても多くの利点があり、個人的にも賛同しております。 しかしながら、現段階では外部環境により消去法的に方針を検討しているように感じられ、「民営化」という手段が取り沙汰されているにすぎないようなも思えます。 この機会を、住民が望む保育園像を改めてしっかりとヒアリングする契機と捉え、そのニーズに応える事業者を慎重に選定するなど、丁寧なプロセスを踏んでいただきたく存じます。 また、民営化を進めるにあたり、選定された事業者が本町の方針や想いを十分に理解し、町民とともに手を携えてまちづくりを行う未来へつなげていただけることを心から願っております。	町内に町立保育園と民間事業所が運営する保育所が共存することで、保育方針や保育のカリキュラムなどの選択肢が増えます。 保育の選択肢が増えることで、さまざまな状況の子ども達に合った保育が受けられるため、「子どもの最善の利益」につながります。 財政面からの利点もありますが、「民営化」の手段は、外部環境による消去法的な方針ではなく、さまざまな状況や環境下にある子ども達のことを考慮した方針です。 また、民間事業者には、子どもや保護者のニーズに沿って安心できる保育の提供や、安定した運営が求められます。 今後、民間事業者を選定する上では、「選定委員会」を設置し、募集要項を作成していきますが、保育ICTシステムのアンケート機能を活用して、保護者が求めるサービスなどの意向を聞き取り、できる限り募集要項に盛り込めるようにします。 なお、現在も民間事業者と連携して、本町の保護者や子どもの保育ニーズに対応していますが、民営化を進める上でも、さらなる多様な保育ニーズに対応できるよう、民間事業者と連携・協力していきます。
5	保育サービスの維持について	現在、長男が保育園でお世話になっていて毎日楽しそうに行っているのですが、次男も保育園に入園させたいと思っています。家庭の都合で自分が働きに行けないので、今まで通り親が働いていない子でも入園できるようにしてほしいです。給食費の徴収などを始めて保育園が今のまま存続できることを希望します。	全国的な課題でもありますが、本町においても、保育士が不足していることから、これまでと同様に町立保育園で、教育認定児の幼児教育・保育を継続することが難しくなってきています。 保育認定児の割合や乳児保育の需要の高まり、また、本町に幼稚園が少ないことから、民営化を進める上では、保護者のニーズを考えて、保育園と幼稚園の機能を併せ持った「認定こども園」での運営を検討しています。 また、給食費の無償については、費用面における保育サービスの充実の一環として行ってきました。 一方で、民間事業者は有償で給食を提供しているため、保育サービスの利用負担額に差が生じています。 なお、無償化のための費用を確保するため、質の高い保育環境の整備が後回しになりかねません。町立保育園は、老朽化が進み、施設整備費の増大が懸念されますが、子ども達のために、質の高い保育環境を提供したいと考えています。 そのため、必要な利用料や給食費は保護者負担をお願いさせていただくことを考えており、今後も持続可能な保育園運営を目指していきます。

「東浦町立保育園の今後のあり方(案)」への意見募集結果について

No.	意見等の要旨	パブリック・コメントの意見等	町の考え方
6	保育士人材確保について	「(案)の4(2)保育士の状況」について かねてより、保育士の退職が多いということは聞いておりました。「直近4年の保育士の状況」(表)によると、2023年では、「新規採用者数16人、自己都合退職者数16人」となっています。この退職者の数には驚きました。「概要 5 現状と課題を踏まえて」には、「転職やチャレンジ意識を持つ職員が増えています」と書かれています。原因は果たしてそれだけなのでしょうか。他の市町村との比較も必要ですが、退職者が多すぎる気がします。 新規採用者の方が魅力や、やりがいを感じて続けて行こうという意欲を持てるような職場環境にはなっているのでしょうか。持てる力を十分に発揮していこうという、自由な雰囲気が職場にあれば、このような数の退職者は出ないのではないかと思います。 他の市町村との比較も必要ですが、もし職場環境に問題ありとすれば、そこからの改善をまず図っていただくのが子ども達にとっても良いことだと思います。民営化も否定するわけではありませんが、まず足下の問題があるとすれば、その改善も必須だと思います。	昨今の退職理由として、結婚以外にも、保育士以外の職種にチャレンジしたいことを挙げる保育士が増えてきています。本町の保育士は20歳代が多くを占めており、年代として自分の可能性を考えることも背景にあると考えます。 しかし、保育士職は、子どもの成長を間近で見られるやりがいのある職種であるため、保育士自身が意欲を持てる職場づくりは大事なことです。 これまでも、「夕礼」の取組を通じて、業務の進捗の確認や、時間外業務の確認を行い、働きやすい雰囲気づくりを行っているところです。 また、事務時間や保育についての語り合いの時間等を確保するため、今年度から保育ICTシステムを全保育園に導入し、保育士の業務をタブレット端末でできるようするなど、負担軽減を図りました。 今後におきましても、保育士とともに、意見を出し合い、職場の環境改善や負担軽減に努め、やりがいを感じることができる環境づくりに努めます。
7	運営費補助・受益者負担について	「(案)の4(5)まとめ」について まとめの中に、「明確に国や県からの補助がありません。……受益者負担の検討を進めていく必要があると考えています。」とあります。 まず、保育園の運営費への国や県からの明確な補助がない、ということが理解に苦しむところです。保育料は国から支給され、保護者の負担がないとのことですが、ならば、運営費にも明確な補助があってしかるべきではないでしょうか。国、県に対しての町からの強力な働きかけが必要と思われます。他の市町とも連携して、国や県に対して要望していただきたいと思ひますし、必要に応じて各政党にも要請し、国の問題として議論されるべき事柄だと思ひます。 さらに、(案)7ページの6行目に書かれています「受益者負担」という文言です。「今後も安定的かつ継続性のある保育サービスを実施していく上で受益者負担の検討を進めていく必要があると考えています。」と書かれています。この「保育サービスの受益者」は、社会全体ではないのでしょうか。子ども達が成長し、社会へ貢献するための保育園なのですから、いわゆる受益者負担という考え方は、ふさわしくないと思ひます。もしそれでも受益者負担というならば、慎重な検討をお願いしたいと思ひます。	地方交付税交付金は、児童数等を積算基礎として算出していますが、公立保育園の運営に係る費用に対して、明確な補助がないことは、多くを公立保育園で運営する自治体にとって、大きな課題であると考えています。 そのため、町長をはじめとして職員も各省庁へ出向き、国の施策の動向や、本町の課題について意見交換の機会を幾度となく作ってきています。また、各省庁との意見交換の際には、本町の課題をまとめ、冊子とした「主な課題事項」を用いて説明し、課題解決につながる働きかけも行っています。 国は、社会全体で子どもの育ちを支える支援として、2024年10月から児童手当の対象範囲や金額の拡充をしました。各自治体においては、地域性や課題に応じて、きめ細かい子育て支援策を展開しています。 保育サービスに求める声として、「〇〇市が行っている保育サービスを取り入れてほしい。」などの意見を聞きます。課題や自治体の基盤も異なる中で、取り入れることが難しい取組もありますが、総じて、保育サービスの選択肢を増やしてほしい意味合いに受け取れます。 「利用料の無償」だけが「子育て支援策が充実している」に結びつくとは考えていません。保護者の中でも受けたたい保育サービスの取捨選択があり、選択肢を増やして、有償でも保護者が受けたたい保育サービスを選べる環境にあることが、子育て支援策の充実化につながると考えています。そのため、「受益者負担」を、「利用者の負担」に修正します。
8	保育サービスの維持について	全体として、公立保育園の民営化が進められる方針ですが、安定した保育と継続性を考えると、今の公立保育園のまま続けてほしいと願うところです。民間の保育園が悪いとの考えではなく、保護者の立場としては公立で経済的にも安心して預けられるとの立場です。	本町は現在、一時的保育(リフレッシュ保育)を民間事業者と連携・協力しながら、実施しています。 このように、民間事業者は、多様化する保育ニーズの高まりに対して、これまで培ってきたノウハウを駆使して柔軟に応えることができます。 現在も民間事業者と連携して、本町の保護者や子どもの保育ニーズに対応していますが、民営化を進める上でも、さらなる多様な保育ニーズに対応できるよう、民間事業者と連携・協力していきます。
9	保育サービスの維持について	現在、町立保育園は給食費と早朝保育料が無償で、周辺自治体よりも充実している内容です。しかし、7ページ最後にある「保育サービスに対する利用者負担額の官民格差是正は必要」との言葉では、民営化にともない、それらの町独自支援が有償になるのでは、と思ひます。魅力ある支援の継続で、子育て世帯から選ばれる町とするよう求めます。	「利用料が無償」だけが「魅力ある支援」ではないと考えています。保護者の中でも受けたたい保育サービスの取捨選択があり、選択肢を増やして、有償でも保護者が受けたたい保育サービスを選べる環境にあることが、魅力ある支援につながると考えています。 そのため、民営化を進めていく中では、必要な利用料や給食費は保護者負担をお願いさせていただくことを考えており、今後も持続可能な保育園運営を目指していきます。
10	民営化について	民営化が進められる場合 9ページ「6 町立保育園の民営化(2)民営化の意義」のオで民営化される前に働いていた町立保育園の保育士が、確実に町の雇用で残ってもらえるように給与や職場環境を整える対策が必要と考えます。具体的に明記されないのでしょうか。	民営化を進めることで、民営化した町立保育園に配属していた保育士を、他の町立保育園に配属することができます。そのため、国が新たに示した保育士の配置基準を満たすことが可能となり、保育士の職場環境の改善にもつながると考えています。 また、給与に関しては、国の基準に準拠し、東浦町職員の給与に関する条例に則っているため、保育士職用の給与体系を設けることはできませんが、今後も職場環境の整備は行っていくため、働きやすい職場づくりを継続して行っていく旨を明記します。

「東浦町立保育園の今後のあり方(案)」への意見募集結果について

No.	意見等の要旨	パブリック・コメントの意見等	町の考え方
11	民営化について	10ページ「6町立保育園の民営化(3)民営化の進め方」では、通園する保護者や地域住民への説明は、民営化される前の十分な期間をもって開催してください。また、ウの民間事業者の選定にあたっては、どういった基準で選ぶのか具体的に公表されること、保育士、保護者、地域住民の意見を集める機会はあるのでしょうか。	本町では、心身の発達がゆっくりな子どもや医療的ケアが必要な子どもの入園希望や、一時的保育の利用者の増加など、多様な保育ニーズが高まっています。 多様な保育ニーズに対応するためには、安心安全な環境整備として、保育士の確保が必要不可欠ですが、保育士が不足している現在においては、十分な受け入れ体制を整備できているとは言えない状況です。 民営化を進めることで、民営化した町立保育園に勤務していた保育士を、他の町立保育園に配属することができます。民営化の効果として、十分な受け入れ体制が整備できることが挙げられるため、可能な限り早期に民営化を進めたいと考えています。 また、民間事業者の選定においては、安心できる保育の提供や、安定した運営が求められます。 今後、民間事業者を選定する上では、「選定委員会」を設置し、選定基準や募集要項を作成していきます。作成した選定基準や募集要項は公募するために公表します。 なお、民営化を進めていく過程の中で、保護者説明会を開催し、意見をいただく機会を設けたいと考えています。
12	行事等について	共働きを前提としない事項の廃止 共働き家庭で、就園中の園児がいます。平日の園行事開催や、保護者の会役員の平日の活動、保護者の会主催の平日イベントなど、共働きには厳しい現状です。共働きが増えた現代に合わない前時代的な活動は、変更すべきです。	共働き家庭の方々には、お仕事を休んで保育園の行事に参加していただき、感謝しています。保育園の行事は、子どもの成長した姿を保護者の方に見ていただく機会と捉えています。 子どもの体力面からも土日に行事を行い、翌平日は通常保育を行うことは、子どもにとっても体力が必要になります。また、休日に行事を行うことで、加配保育士など保育体制が整備できない可能性もあることから、平日に行事を行っています。 行事の開催に関して、すぐに結論が出るものではありませんが、子どもや保護者の負担、保育士の負担などを総合的に考え検討していきます。
13	スモック、カバンについて	園スモック、カバンの廃止 長年見直されておらず、スモックは機能性に乏しく、横掛カバンは容量が小さく、水筒が入らないため、園児が水筒を斜めがけしており危険。水筒の斜めがけによる事故は消費者庁からも警告されています。 上記に限らず、【長年見直されていないもの】をこれを期に見直してください。	保護者の会連絡協議会で意見徴収をしたところ、保育園児と一目で分かることから、地域住民が見守る視点を持つことで、園児の安全性につながるため、スモックは必要である意見が多くありました。 これらのことからスモックの着用は継続していきますが、夏場においては、気温が高く、多くの園児がスモックを着用せずに降園しているため、着用ルールについては、今後検討していきます。 また、水筒の斜め掛けについてですが、保育室の移動や戸外遊び、散歩時に水筒を持ち運ぶ際、手に持って移動すると手がふさがり、転倒時に落としたり友達に当たるなどの危険性があるため、肩掛けをお願いしているところです。 一方で、消費者庁からの水筒の斜め掛けに関する転倒事故の注意喚起もあるため、持ち運ぶ方法を検討していきます。 なお、カバンについては、子ども自身が身の回りの持ち物を準備しやすい容量や、動きやすさを考慮した推奨品を用意しています。カバンを選ぶ上で指定はしていませんが、保育室内のロッカーの大きさに合ったサイズをお願いしています。
14	「魅力ある東浦の保育士」の広報	保育士の人材確保が難しくとあるが、どのような対策をしているのか。 退職者が20代から30代が多いようですが、次のような工夫をして「魅力なる東浦の保育士」を広報するとよいと思う。 ・持ち帰り仕事が多いことへの待遇改善 ・保育、教育者としての各種手当の増額や給料面の工夫 ・保育士の学習会の様子や日常の保育実践などSNSでの広報	保育士の確保のために、毎年、県内の保育学科のある大学へ町職員が訪問し、就職を担当するキャリア支援室の職員及び学生に、直接、東浦町をPRして採用試験の応募を促しています。また、今年度においては、町長も町職員と大学を訪問しました。 なお、過去に本町で保育士として働いていた職員にも声をかけ、カムバック採用を促しています。 今年度から、保育ICTシステムを保育園に導入し、保護者の利便性の向上及び保育士の事務の負担軽減を図りました。今後も、実際に活用している保育士とともに話し合い、保護者及び保育士両者にとってメリットのある機能の拡充を考えていきます。 その中で、保育士の日常の姿や研修会など、保育の資質向上に取り組む様子等を、保育士を目指す方々に向けてPRしていきます。